

辻 堂 青少愛だより

編集・発行
辻堂地区青少年
育成協力会

事務局
辻堂市民センター
TEL(34)8661

☆視察研修会☆

6月11日(火)、神奈川県総合防災センターと雪印メグミルク海老名工場へ視察研修に行ってきました。

元日に能登半島地震が起きた事もあり、防災意識を再確認しなければ、と思っていたところでした。

総合防災センターでは、ロビーに東日本大震災で記録された津波の高さが掲示されていました。数字だけではなく、実際にその高さを目の当たりにすると、とても怖い恐怖を感じました。

地震体験では、東日本大震災の実際の揺れが再現されていました。繰り返し強い揺れが襲ってくる中ではしがみつくのが精一杯。家具転倒防止器具等の必要性を感じました。煙避難体験では冷静な判断が必要な事、風水害体験では、最大風速30m/sの風を受けると呼吸も難しいという事などを体感しました。

これらの体験を元に、早めの避難と備えを呼びかけていきたいと思えます。

雪印メグミルク海老名工場では、徹底した品質・衛生管理の元に製造され、ほとんどがオートメーション化されているそうです。環境に配慮した設備を導入し、地球環境の保全や省エネにも力を入れており、工場から出る廃棄物は再資源化を図ってリサイクル率100%を達成している



のこと。企業努力がよくわかり、自然が育んだミルクを大事に頂きたいと思いました。

視察研修で学んだことを、子どもにしっかりと伝えたいと思います。有意義な研修会となりました。



講演会

「元特別支援学校の先生が語る
みんなで幸せになる方法」

1月19日(日) 講演会の冒頭で「今日は急いで会場に駆けつけてくれた方もいらっしゃるでしょうからまず、深呼吸しましょう」との気遣いが嬉しかったです。

沖縄出身で独特のイントネーションも心に優しく響きました。娘さんの子育ての話がたくさんあり、小4で「学校は戦場なんだよ」と語り不登校を経験したとき、講師は顔では「大丈夫」と言い心で泣いたそうです。それで「自分が元気になるう」と娘を心配するよりも自分を大切にすることにしたとの事です。

親が機嫌よく幸せでいると子どもは安心して動き出し好きな事が見つかり、才能が開花することに気づきました。誰かを助けたいと思ったら、まず自分が幸せなのかを確認。先に自分を整えてネガティブな感情を抑えて、問題に目を向けるのではなく今後どうしたいのか、どうサポートできて、どうなっていきたいのかに目を向けることが大事だと教えていただきました。

今後そのような場面でもひとつずつ実践できたらと思います。

ウクレレの演奏も素敵でした。



講演会の様子

情報交換会

「夏休みに向けて子どもが巻き込まれてしまうトラブルについて(辻堂編)」



情報交換会の様子

7月3日(水) 辻堂市民センターにおいて、情報交換会が行なわれました。前半は、藤沢市青少年課街頭指導員の大宮氏と荒木氏より、「SNSの現状と子どものトラブル」についての講話がありました。

私が心に残った言葉として、「携帯やスマホは、人の心に大きな傷をつける凶器にもなる。」今、犯罪が低年齢化し、SNSによる犯罪に巻き込まれる子どもたちが増えています。

このようなSNSによるトラブルに巻き込まれた時、何らかのいじめにあい困った時は、自分だけで悩まず、必ず両親や先生、警察に相談する事が大切とお話を伺いました。

また、各学校の校長先生の近況報告では、子どもたちのスマホの保有率が高く、SNSのトラブルが多い。コミュニケーションアプリやオンラインゲームが定着しさまざまな問題が深刻化しているとお話でした。家庭の中で、スマホの使い方や危険性を話し合う事の重要性を感じました。

事業報告

○定期総会(5月8日)

○視察研修会(6月11日)

神奈川県総合防災センター・雪印メグミルク海老名工場

○情報交換会(7月3日)

「夏休みに向けて子どもが巻き込まれてしまうトラブルについて(辻堂編)」
藤沢市青少年課 街頭指導員
大宮 仁氏・荒木 真二氏

○夜間パトロール(7月26日)

辻堂諏訪神社の祭礼にあわせてパトロール

○公民館まつり(11月9日・10日)

・模擬店出店
・非行防止啓発用品の配布

○講演会(1月19日)

「元特別支援学校の先生が語る みんなで幸せになる方法」について
も、保護者の気持ちに寄り添う」
までいだけつこ氏

高浜地域子ども支援会議・ネットワーク湘南堂夢との共催

○「青少愛だより第37号」の発行

○役員会 年7回開催

○各種団体会議

学校・家庭・地域連携推進事業、辻堂砂山・辻堂児童館、八松子どもの家、公民館まつり、辻堂まちづくり会議等

○各種街頭キャンペーン

○藤沢市青少年育成協議会
会議 年4回



地区の校長先生のごあいさつ

「地域の皆様に愛される子どもたちをめざして」

高砂小学校長 町田 一郎

着任して1年が経ちます。広い海が近くにある地域の特性か子どもたちは優しく伸びやかで、保護者や地域の皆様も熱心かつ温かく子どもたちの成長を支えてくださっていると感じており、毎日楽しく過ごさせていただいていること、大変感謝しております。

本校では令和4年度から学校運営協議会制度が始まりましたが、今年度から高浜中と浜見小と3校統合型のコミュニティスクールとなりました。3校それぞれの教育的ニーズを洗い出し、「人材発掘・活用」「防災・安全」「児童・生徒支援」の3つの視点で部会を設置し、それぞれの部会で進めていくべき課題を議論してきました。子どもたちや保護者の皆様にとってのよりよい実践に繋げていけたらと考えています。

今年度もお忙しい中、多くの地域の皆様の支援を受けて、安全で深みのある学習を進めることができました。支援を受けるだけでなく、子どもたちからも地域に何か恩返しができたらいなと思います。引き続き子どもたちへ温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「学校と地域が手を取りあって」

湘洋中学校長 繁里 勇

湘洋中学校に3年前に着任し、校長として1年がたちました。椰子の木に囲まれた明るく開放的な環境に心が和み、そして生徒たちからいつもたくさん元気もらい、充実した日々を送っています。日頃より地域の皆さまには、生徒たちや学校が大変お世話になり感謝申し上げます。

本校では、令和5年に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなりました。今年度は「地域の強みや課題、地域でどのような子どもたちを育てたいか、子どもたちにどのような力を身につけてほしいか」などについて、13名の委員とともに熟議を重ねています。毎回、貴重なご意見を多数いただき、とても心強く思っています。学校と地域が手を取り合って、子どもたちの成長を見守りつつ、その土台を築く重要な取組を行っていると考えています。

今後、「誰もが楽しく通える、幸せな3年間を過ごすことができる学校づくり」を推進していきます。皆さまにも湘洋中学校の生徒を温かく見守っていただき、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

「陽光の中にある辻堂」

辻堂小学校長 納富 崇典

初任者として勤務した辻堂小学校に戻り、校長となったことは、不思議な感覚であると同時に、とても感慨深いものです。23年前、鵠沼海岸に住んでいた、朝の陽光の中、自転車に乗り、鵠沼海岸の商店街を抜け、八部公園の前を通り、作橋を渡り、太平台の畑を見ながら通勤することに大きな幸福感がありました。

地域の皆様はとも大らかで温かく、地区レクや公民館まつりに熱心で、私も楽しみながら会に参加していました。また、毎日の授業がとても楽しかったことを覚えています。発想が豊かで、時に大人を唸らせるほどの成果を見せてくれる子どもたちでした。

ここに戻ってきて感じることは、景色も子どもたちも地域の方も変わらないということ。そして今、改めて学校が地域に支えられていることや、学校が地域の象徴的存在であることを実感しています。地域の皆様と再会し、また一緒に子どもたちの育成に関わることを楽しみにしています。

表彰おめでとうございます

齋間 道雄 さん

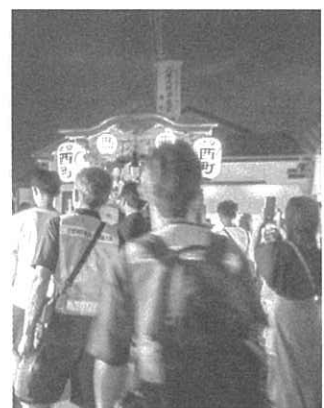
須田 容子 さん

令和6年10月1日に藤沢市表彰式が開催され、
本会から次の方が表彰されました。

青少年の健全育成、非行防止に关しご尽力されている方です。心からお祝い申し上げますとともに今後の活躍を期待しております。

☆夜間パトロール☆

「地域の力を感じた夜間パトロール」



夜間パトロールの様子

夏の夜空に鳴り響く太鼓や笛の音。7月26日、旧辻堂市民センターから夜間パトロールに出発した。諏訪神社周辺にずらりと並んだ夜店や鳥居に飾られた提灯の明かり、諏訪神社に集う人の熱気に圧倒された。また、真剣な表情で太鼓を叩いたり、笛を吹いたりする子どもたちの姿に目を奪われた。とてもいい顔をしていた。

パトロールをして強く感じたのは、地域の中で、子どもたちがたくましく育っているということ。陽が長くなってきた頃から、子どもたちが地域の方と一緒に練習していたことは、夕方になると聞こえる太鼓の音で知っていた。

諏訪神社周辺の車の進入禁止や駐輪場の設置などの対策により、交通面での安全は確保され、子どもたちは安心してお祭りを楽しんでいた。安心・安全な地域の中で、子どもたちが育っていることを改めて感じた夜だった。

第47回 辻堂 公民館まつり

やきいも、わたがし、ポップコーン
今年も大盛況でした！



公民館まつりの様子



青少年指導員 活動報告

青少年指導員は、青少年の非行防止推進を目的としたパトロールを行なう「街頭指導部」と、工作・伝承事業等の体験活動を通して青少年の健全育成に取り組んでいる「育成部」で成り立っています。

パトロールは月に2回、青いジャンパーを着て、不審者情報や危険箇所等考慮しつつ、通学路や公園を中心に子どもたちの様子を観察しながら声かけをおこなっています。

体験活動については、今年度も感染に気を配りながら開催することができました。どの行事も参加した子どもたちは元気で楽しんでいた様子でした。

今年度の主な活動

- 「こどもの広場」つくってあそぼう
- 「夏の工作教室」
- 「芋ほり」
- 「クリスマスのつどい」
- 「鏡びらき」
- 月2回のパトロール

また、辻堂青少年会館（つじせい）・辻堂砂山児童館（ぐうちよきばあ）・八松子どもの家（まつぼっくり）の運営委員としても活動しました。